

2011年 新しい市民活動のスタート



亀山の西の山、白木の国分寺からのご来光

2011年の幕開けです。新たな年に大きく躍進をめざしている市民活動グループを紹介します。

めざせ！B-1グランプリ

昨年は、神奈川県厚木市に46万人が集まったB級ご当地グルメの祭典「B-1グランプリ」。今年の秋には兵庫県姫路市で開催されます。

まちおこし市民グループ「亀山みそ焼きうどん本舗」も参加を目指しています。まだまだいくつものハードルがありますが、一步一步近づいています。

問合せ先 090-8550-8318 伊藤



岩手県での「全国5大焼きうどんサミット」で人気のかめみちゃん

全国大会いよいよこの秋に！

めざそうバリフタウン全国大会

高齢者をはじめ、全ての人に優しい社会は誰もが望むことです。その実現に向けて、私たちのまち亀山が全国に先がけて開くのがバリフタウン全国大会。

すでに亀山駅のエレベーターや、多機能トイレの設置と進んできました。大会を契機に市民の力で、できることはたくさんあるはず。あなたも一緒につくろう！バリフタウン！

問合せ先 090-4265-2047 渡邊



福祉に関わるすべての市民の力を結集し全国大会を開こう。

ケニヤの地で民族を超え世代を超え壮大な夢を！

市内南野町で生まれ育ち、亀山中学校で学んだ市橋隆雄さん(62歳)。アフリカで幼稚園、学校を創り22年間、家族ぐるみでスラムの子どもたちの教育活動を続けています。この活動を10年前から支援しているのが亀山中学校時代の仲間を中心とした「市橋隆雄さんを支える会」です。

当初、アフリカの幼稚園から始まったプロジェクトは小学校さらに中学校と今年から規模も大きくなります。世代交代も進みます。民族を超えた壮大な夢の実現へ、できることから支援をしませんか。

問合せ先 090-8550-8318 伊藤

写真左：昨年亀山大市でのバザー
中：市橋さん家族
右：新しい学校



**市民交流の日** レポート 11月21日(日) 19:30～21:30 市民協働センター「みらい」**11月のテーマ: バリフタウンについて**

バリフタウンとは、バリアフリーのまちという意味です。昨年11月13日には、2011年11月に開催される全国大会に備えてプレ大会が行われました。今年は、全国大会に向かって準備を進めます。

全国からの来訪者も含めて600人規模の大会になる予定です。車椅子利用者も数十名お越しになるでしょう。この機会に、亀山市が“すべての人に優しいまち”を目指しハード面、ソフト面の両方からあるべき姿を考え実現に向かって進めましょう。テーマにそって話し合った内容は次の通りです。

亀山の現状

- ・てくてくマラソンでは、亀山駅で車椅子対応トイレが無いため、人手で介助したが大変だった。
- ・バリフタウン全国大会には福祉にかかわる市内外の各種の団体も参加し、大会後にも継続してバリアフリーのまちづくりとつながるイベントを目指す。
- ・以前はバリフタウンという言葉が出てきたら、後ろに説明文が載っていたが、今は無くなった。“バリフタウン”という言葉が浸透してきたのではないが。
- ・亀山市の図書館は、車椅子用のスロープがあったが、屋根がなかったので取り付けた。また、トイレも多目的用に改善したが、車椅子利用者はめったに来ない。
- ・一度、亀山市内の多目的トイレについて調査してみるのもいいと思う。

フリートーク

- ・外国人にとって日本語だけの看板等もバリアになっているのではないか。
- ・企業のなかでは、まだまだ障害者雇用が進んでいない。
- ・気楽に車椅子の人が外に出られる社会は、誰もが楽しく暮らせる社会だと思う。
- ・車椅子などに実際乗ってみる体験の機会を増やすことが一番ではないか。
- ・男性トイレに育児スペースがない。
- ・多目的トイレは、まだまだ普及していない。
- ・街の周辺部だけでなく、広く整備する必要があると思う。



この集まりは、毎月21日に(土日、祝日関係なく)19時30分から21時30分に「みらい」で開催しています。申し込み無しで、誰でも自由に参加できます。聞くだけの人も大歓迎です！ぜひ、一度お越しください。

1月21日(金)のテーマ 亀山をどうしたいか(良い点、改善点)

19時30分～21時30分です。

どなたでも自由に気軽に参加できます。あなたの想いをお話してください。

～ 輪を広げましょう! (^o^) ～

亀山あるこうかい 紅葉の加太路を往く

11月28日、今年最後のあるこうかいは加太路でした。加太にはまだあまり知られていない名所旧跡が残っています。加太駅を出発した一行は、明治時代から使われてきたレンガづくりの関西線の橋梁を訪ねました。コンクリートが一般的でなかった時代の構築物ですが、100年以上経っても健在していることには驚かされました。

金場にある昭和31年に約10名の犠牲者を出した関西線列車転落事故現場を知る人も少なくなりました。しかし、こんな悲劇を繰り返さないよう災害の教訓を語り継ぐことは私たちに課された使命だといえるでしょう。

久我など、平家伝説の集落では地元の皆さんに解説をいただき長い歴史に思いをはせながら約9kmの旅を終えました。



列車事故の解説を聞く参加者



あのひと、このひと

このコーナーは、市民活動団体などで活動している方に、活動を始めたきっかけや活動の内容、今後の展開、これから活動を始める方へのアドバイスなどを率直なことばで語っていただきます。

今月は、『マジック同好会』の中澤稔さんです。

初めまして。私たちのグループは、亀山市主催の文化講座の「マジック入門」の講座を受けた受講生が、今後も少しでもマジックを覚えたい、マジックを学びたいとの想いで愛好者が集まり発足しました。素人の集団です。

2009年4月にグループが発足し、ちょうど1年8カ月が経過しました。活動は、毎月1回、第2水曜日の午後1時30分から3時30分に市民協働センター「みらい」で行っています。講師は、文化講座の講師をされた石崎京^{ひとし}先生です。

活動内容は、新しいマジックを2、3個教えてもらい、前回の復習をするといった内容です。活動の時間になると、一気に活気を帯びて笑いがおこりますが、先生のテクニックを覚えるとなると必死な表情に変わるのがこのグループの雰囲気の特徴です。新しいマジックの演じ方とテクニックを詳細に指導していただけるのが何より嬉しいことです。復習の時間もあるので、忘れていたところや演技がよく身につきます。全員が活動時間に発表できるのも楽しみです。

現在、会員数は男性5人、女性3人の計8人で年齢層は50代から非常に人生経験の豊富な人の集まりで、この愛好会の和やかな雰囲気を感じます。

マジックというと難しそうに思われますが、決してそうではありません。器用な人でないと...とお思いでしょうが、とんでもありません。みんな不器用です。マジックに少しでも興味のある人は、一度例会日に市民協働センター「みらい」へ来てください。お待ちしております。

同好会で覚えたマジックはまだ未熟ですが、マジックを通して人と人の和を築いていきたい、元気を与えたいと思っています。失敗もあり成功もあると思っています。今後は、少しでも覚えたマジックを皆さんに見てもらえる機会があれば良い、と想いながら会員は日々練習に取り組んでいます。よろしく願います。
問合せ 82-5453(中澤)



活動の様子



市民協働センター「みらい」にて



1 / 2 4

「市民活動なんでも相談所」相談希望者募集

「何かやりたいけど、どうしたらいいかわからない。」「活動するのに資金が不足して...どうしよう?」など市民活動に関する相談に応じます。

予約優先で相談を受け付けますので、相談を希望される人は、お申し込みください。



と き : 1月24日(月) 11時～正午 1時～2時 2時30分～3時30分

と ころ : 市民協働センター「みらい」2階 第2会議室

相談員 : 亀山市市民活動専門コーディネーター 亀山裕美子氏

申込方法 : 氏名、住所、電話番号、希望日時、相談内容をご記入のうえ、直接申込先に提出していただくか FAXにてお知らせください。先着順で受け付けます。

申込先、問合せ先 : 市民部 市民相談協働室 TEL 84-5008 FAX 82-1434

もしくは、市民協働センター「みらい」受付

2 / 4

あなたは一人じゃない...

悩める人たちが安心して話せる居場所の提供をしています。ぜひ勇気を出して来てください!

と き : 2月4日(金)

と ころ : 亀山市総合保健福祉センター あいあい2階大会議室

対象者 : 悩みがある方(心の傷、トラウマ、問題を抱えている方)

定 員 : 10名 当日来訪可

参加費 : 500円



申込先、問合せ先 : Salon de TRUE BEAUTY 090-1750-6245(河西)

平日の午前9時から午後7時まで

近江の国へ宝探し

12月2日、市民交流会が開催されました。今回は、市民活動に熱心な地域に出かけ現地で学び、話し合うことにしました。行き先は近江八幡市とその隣に位置する東近江市でした。

近江八幡市は、市民の有志の活動で堀を清掃し、今ではその堀が観光名所となっています。また、東近江市の五個荘は、近江商人発祥の町として豪商の屋敷が残され、市民団体によって保存活動が続けられているということでした。また、バスの車内も話し合いの場とし、それぞれの活動への想いを熱く語り合いました。

参加者の声

近江八幡の町並みを保存して行こうという人の多さに驚いた。街に愛着を持っている人が多いからこそ街全体が地域づくりをしようという雰囲気になるのかなと感じた。また、全てを行政に頼るのではなく、やれることをやるという精神に感心しました。



市民活動ニュースに掲載する情報・お便りを募集しています

詳しくは、市民相談協働室 (Tel 84-5008、Fax 82-1434、Email : shimin@city.kameyama.mie.jp)

又は、市民協働センター「みらい」(Tel 84-5800、Fax 84-5801、Email : mail@shimin-kyodo.sakura.ne.jp 東町一丁目8番7号)までご連絡ください。

編集作成 : 「きらめき亀山21」広報部(問合せ先: 亀山市市民部市民相談協働室〒519-0195三重県亀山市本丸町577番地)

市民活動ニュース配置場所 : 毎月21日市民交流の日・本庁ロビー・市民協働センター「みらい」・関支所・図書館・歴史博物館・医療センター・総合保健福祉センター「あいあい」・関町北部ふれあい交流センター・林業総合センター・鈴鹿馬子倶楽部・老人福祉センター・健康づくり関係センター・青少年研修センター・各地区コミュニティセンター・亀山郵便局・亀山駅前郵便局・亀山駅・百五銀行亀山支店・市民のショップねこの館・茶気茶気・オアシス館・鈴鹿県民センター・みえ市民活動ボランティアセンター(津市)

ホームページ <http://shimin-kyoudo.sakura.ne.jp/kirakame21/> 市民ネット <http://www.shimin-kyodo.sakura.ne.jp/shiminet/> 「きらめき亀山21」メーリングリストへの加入は「きらめき亀山21」HPより登録できます。